

2018年度公益財団法人熊本YMCA事業報告書

(1) 事業執行状況

その1：公益財団法人（法人法第91条第2項の規定に基づく報告）

〔公益目的事業〕

A. ウェルネス事業（野外教育活動及び健康教育活動）

1. 野外教育活動

(1) 自然体験活動

【活動計画及び実績人数】

① 通年野外クラス

1) 野外活動クラブ（日帰り野外活動）

	中央	
	予算	実数
平均	24名	34名

2) 野外活動（宿泊野外活動）

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	6名	24名	6名	8名	6名	4名	6名	0名	6名	22名

〔年間評価〕

デイと宿泊の2クラブが合体したことで、登録者数は増えた。日帰り、宿泊の活動での出席者率に差はあったが、年間予算は達成できた。リーダー確保が課題。特に宿泊時の女性リーダーの確保が難しかった。

② 季節野外活動

プログラム名	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
土日キャンプ	30名	20名	25名	22名	30名	39名	20名		105名	81名
夏期キャンプ	411名	507名	98名		—		—		411名	507名
冬期キャンプ	371名	243名	90名		—		—		371名	243名
春期キャンプ	40名	84名	10名		—		—		40名	84名
合計	852名	834名	25名	22名	30名	39名	20名		927名	915名

〔年間評価〕

多くの職員、リーダーの協力のおかげでキャンプ実施することができた。各センターキャンプも計画され実施できている。

③ 障がい児支援キャンプ

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
第44回ポニーキャンプ (熊本盲学校との共催)	C I	7月22日～23日	生徒：20名 ボランティア等：30名
第17回コスモスキャンプ (日本自閉症協会熊本県支部との共催)	阿蘇	8月13日～14日	児童：13名 ボランティア等：17名

〔年間評価〕

コスモスキャンプ：熊本県自閉症協会、インターナショナルチャリティーラン、コールマンジャパンからの支援を受けて実施できた。阿蘇の自然に囲まれ、様々なアクティビティーにチャレンジできた。

④ 災害児支援キャンプ

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
第7回あそぼうキャンプ	阿蘇	8月17日～19日	児童：40名 ボランティア等：50名
第2回あおぞらキャンプ	C I	時期未定	児童：40名 ボランティア等：20名

[年間評価]

あそぼうキャンプ：様々な専門家によるサポートのもと、阿蘇をフィールドに、ホースセラピー、自然体験、野外調理などを行い、子どもたちの心のケアキャンプが実施できた。

⑤指導者派遣

キャンプ指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施
クラフト指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施
ゲーム指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施
野外調理指導	幼稚園、保育園、子ども会等からの依頼により実施

(2) リーダーシップ養成活動

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
キャンプリーダートレーニング	野外教育	6月24日 12月2日	6月開催50名 12月開催20名
熊本YMCAリーダー研修会	野外教育	未実施	

(3) 自然環境の保全活動

プログラム名	担当部署	実施予定日	目標人数
植林事業（森林探検隊） （会場：YMCA的石キャンプ場）	野外教育	4月29日	50名
環境教育プログラム （会場：YMCA的石キャンプ場ほか）	阿蘇	6月25日、8月26日、 11月26日	各回30名 延べ90名
九州キャンプミーティング	野外教育	2019年2月16日～17日	60名

2. 健康教育活動

(1) スポーツ活動

ア. 子どもスポーツ活動

【活動計画及び実績人数】

①通年クラス

1) 体育英語幼稚園

	中央		みなみ	ながみね		むさし		計	
	予算	実数		予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	15名	16名	—	15名	11名	15名	12名	45名	40名

[年間評価]

予算人数は未達。年間行事等無事終了し39名が卒園をすることができた。

2) 体操

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	296名	218名	356名	357名	302名	208名	303名	267名	1,257名	1,050名

[年間評価]

年間を通して安定をして推移している。みなみ幼児クラスなど募集もよく定員もいっぱいとなっているクラスも多数ある。

3) 新体操

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	25名	37名	15名	10名	35名	40名	75名	87名

[年間評価]

大きな増減もなく年間を通して安定して推移している。

4) サッカー

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実数	予算	実数	予算	実数	予算	実数
平均	86名	60名	166名	131名	107名	75名	347名	266名

〔年間評価〕 ＊小学生・中学生サッカーチーム含む（ながみね）

サッカースクールは8月以降参加者が微増であり、予算未達。年々、幼児～小学校低学年層の獲得ができていない状況。

5)水泳

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算
平均	1,141名	1,015名	1,255名	1,122名	1,110名	836名	3,506名	2,973名

〔年間評価〕

夏以降講習会からの入会などで増加してきているが冬に近づくにつれ人数が減少している。寒さなどの影響もしているが例年通り推移している。

6) ヒップホップ（チアダンス含む）

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算
平均	10名	9名	10名	8名	25名	21名	45名	31名	90名	69名

〔年間評価〕

各センター年間を通して少数ではあるが安定をして推移している。

②講習会

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算
春期	50名	60名	90名	107名	105名	116名	105名	106名	350名	389名
夏期	90名	77名	130名	321名	240名	296名	285名	266名	745名	960名
冬期	70名	58名	110名	89名	130名	100名	110名	74名	420名	321名
合計	210名	195名	330名	517名	475名	512名	500名	446名	1,515名	1,670名

〔年間評価〕

夏は水泳教室の参加が多くなっている、冬は体操クラス参加が多くなっている。講習会から通常への参加もあっている。

イ. 発達障がい支援活動

【活動計画及び目標人数】

①通年クラス

	みなみ		ながみね		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算
平均	25名	23名	26名	16名	51名	39名

〔年間評価〕

水泳・体操を実施しており、ほとんどが水泳在籍である。療育施設からの紹介で入会するケースが増えている。在籍年数も長いため、継続した支援を行う事ができる一方、指導者スキルの向上が益々必要である。

（ながみね）延べ人数の減少は、体操・水泳の複数受講者が体操のみに変更になった。理由としては、自宅から近い水泳教室に通うことになったため。個人それぞれにあった指導ができていないので、継続して取り組んでいく。

ウ. 成人スポーツ活動

【活動計画及び実績人数】

①通年クラス

プログラム名	みなみ		ながみね		むさし		計	
アクア	○	/	○	/	○	/	/	/
ジム	○	/	—	/	○	/	/	/
フィットネス	○	/	○	/	○	/	/	/
	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算
平均	820名	724名	207名	183名	824名	693名	1,851名	1,600名

[年間評価]

新規の施設参入が募集に影響している。今後の施設環境整備とスタッフの指導力、スタジオプログラムの内容が重要ポイントになってくる。

②水泳講習会

	みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算
平均	25名	21名	18名	15名	16名	14名	59名	52名

[年間評価]

予算枠を広げる場合は体制（人員）を強化する必要がある。

エ. 高齢者スポーツ活動

【活動計画及び実績人数】

① メディカルチェック費用無料者（60歳以上の参加者：人数はウ①通年クラスに含む。）

	みなみ		むさし		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算
合計	60名	13名	60名	17名	120名	30名

[年間評価]

メディカル受診者はリピーターが多く4月、5月の新年度スタート時期の申し込みが多い。後半の内部掲示やカウンセリングの時にメディカルチェックの重要性を伝えていく。

(2) 地域支援活動

【活動計画及び目標人数】

①水の安全キャンペーン

	水の安全ハンドブック				着衣水泳指導先
	配付部数	小学校	幼稚園	保育園	
中央	1,150部	17校	—	—	小学校、幼稚園、保育園などからの依頼により実施
みなみ	2,500部	37校	—	—	
上通	30部	1校	—	—	
ながみね	2,400部	23校	2園	4園	
むさし	2,500部	42校	—	—	
阿蘇	700部	6校	—	4園	
御船	100部	6校	7園	6園	
益城	150部	5校	4園	6園	
合計	9,530部	137校	13園	20園	

[着衣水泳指導先] 2018年度実績

校・園名	期日	曜	対象	人数	実施Y	指導者
白川保育園	6月25日	月	2歳児～年長	100名	むさし	2名
御幸小学校①	6月25日	月	1、5、6年	270名	みなみ	2名
御幸小学校②	6月26日	火	2、3、4年	270名	みなみ	3名
嘉島西小学校	6月27日	水	5、6年	160名	みなみ	2名
白川幼稚園	7月3日	火	2歳児～年長	160名	むさし	2名
楠小学校	7月4日	水	全学年	270名	むさし	2名
ひろやすにし保育園	7月4日	水	年中、年長	40名	ながみね	2名
AI保育園	7月9日	月	年中～年長	25名	むさし	2名
画図小学校	7月10日	火	1年	180名	みなみ	3名
ひろやす保育園	7月11日	水	年中、年長	43名	ながみね	2名
一新小学校	7月12日	木	4、5、6年	180名	中央	2名
飯野小学校	7月13日	金	1、3、4年	88名	御船	2名
白山小学校	7月17日	火	1、3、5年	310名	みなみ	2名
阿蘇4保育園	7月17日	火	年中、年長	103名	むさし	3名
出水小学校①	7月18日	水	1、2、3年	245名	みなみ	2名
出水小学校②	7月19日	木	4、5、6年	255名	みなみ	2名

飽田西小学校	7月19日	木	全学年	150名	みなみ	2名
高木小学校	7月20日	金	全学年	109名	御船	2名
菊陽南小学校	7月20日	金	全学年	80名	むさし	3名

②指導者派遣（熊本市内及び周辺地域）

プログラム名	中央	みなみ	ながみね	むさし	阿蘇	御船	益城
体操指導	小学校、幼稚園、保育園、行政等からの依頼により実施						
レクリエーション指導	小学校、幼稚園、保育園、行政等からの依頼により実施						
水泳指導	小学校、幼稚園、保育園、行政等からの依頼により実施						
運動指導	近隣医療機関、自治会等からの依頼により実施						

場所	プログラム	日程	曜	対象	人数	実施Y	指導者
殿の山公民館	運動指導	8/8・10/18	木	託麻南5町内高齢者	延べ40名	ながみね	スタッフ
託麻東コミュニティーセンター	運動指導	9/10・1/28	月	地域高齢者	延べ30名	ながみね	スタッフ

B. 子育て支援事業

1. 幼児保育活動（ぶどうの木幼稚園）

【活動計画及び実績人数】

①ぶどうの木幼稚園（みなみYMCA）

みなみYMCA	2歳児	3歳児	4歳児	5歳	計
人数	15名	15名	20名	15名	65名

〔年間評価〕

定員数に対して+5名の70名を確保した。保護者のニーズは様々であるが、一つひとつを丁寧に対応しながら保育の質向上のために取り組んでいる。

2. アフタースクール（学童保育）

【活動計画及び実績人数】

①通年クラス

1)アフタースクール

	みなみ		むさし		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算
平均	25名	14名	16名	16名	41名	29名

* 8月は平均値に算入しない。

〔年間評価〕

夏以降も大幅な増員ができなかった。5日間コースの募集が低調なことが大きな要因である。バス路線の修正等を2019年度募集で行った。（みなみ）
宿題サポートや絵画教室に加え、YMCAが展開するスポーツ教室や語学教室といったYMCAならではの特色を活かした学童保育が展開できた。近隣小学校における学童保育ではカバーできない時間帯やサービスの提供をすることができた。（むさし）

2)カルチャー教室

	ながみね	計
	予算	実算
平均	46名	44名

〔年間評価〕

8月から1月にかけて、書道は-2名、そろばんも-2名、空手は、-3名で、その後横ばいの状態が続き、その後、徐々に人数が減っている。継続して通ってもらうためには、クラスの時間帯を学校の動きや保護者からの要望に合わせて変えていく必要があるし、書道やそろばん、空手を習うことが楽しいと思ってもらうことも大切だと思うので講師と一緒にクラスの雰囲気づくりなどに努めたい。今後、カルチャークラスがあることを知らない方も多いため情報発信に力を入れていきたい

②講習会

1) アフタースクール

	みなみ	むさし	計
春期	40名	—	40名
夏期	125名	26名	151名
冬期	30名	10名	40名
合計	195名	36名	231名

C. 国際理解・国際教育活動 (国際交流活動及び語学教育活動)

1. 国際交流活動

【活動計画及び実績人数】

①海外派遣

プログラム名	担当部署	実施予定日	参加予定数
タイユースワークキャンプ	上通	8月23日～9月2日	5名
DMZ キャンプ (仮称)	上通	時期未定 8月～9月	5名

〔年間評価〕

タイユースワークキャンプは全員女子の参加であったが、非常に内容の濃いものであった。惜しむらくは参加人数が少なかったことである。DMZ キャンプは韓国側との時期の設定が折り合わなかったため、今年は見送りとなった。

②海外受入

プログラム名	担当部署	実施予定日	受入数
香港中華 YMCA ボランティア	上通/阿蘇	5月29日～6月3日	32名
ICCPJ 海外キャンプカウンセラー受入 (ICCPJ: インターナショナル・キャンプ カウンセラー・プログラム)	阿蘇/ 上通	7月20日～8月20日 上通: 阿蘇研修前後の約1週間	1名
日韓視覚障がい青少年交流受入	阿蘇/上通	7月30日～8月2日	11名
東ティモール YMCA ユース研修受入	本部	9月3日～6日	2名
香港中華 YMCA ボランティアツアー受入	上通/阿蘇	1月13日～18日	28名
台湾・台中 YMCA ボランティアツアー受入	上通/阿蘇	1月22日～31日	15名
台湾・彰化 YMCA ボランティアツアー受入	上通/阿蘇	1月27日～2月1日	13名

〔年間評価〕

ICCPJは今年の参加者少なかったが、日本語の意思疎通も問題なく、キャンプリーダーとしての研修もできた。ホームステイや日本文化も体験し本人の評価も高かった。日韓視覚障がい青少年交流は今年は受入で、韓国大邱光明学校の学生5名や教諭が来日し、熊本盲学校の学生との音楽やスポーツ交流を行い、かつてない盛り上がりを見せた。東ティモールYMCAの大学生のボランティア2名の研修受け入れを行った。サッカーや体育幼稚園など現地で行っているプログラムの体験や、近隣小学校を訪問し、100名以上の児童対象に東ティモールの紹介や平和について考える機会を与えるなど短期間であったが、充実した研修であった。また香港・台湾のボランティアツアーは、熊本地震で被災した阿蘇の農家の農業支援を中心に実施した。また熊本の高校・大学生や阿蘇の保育園児、仮設団地の住民など、多方面な交流も行い、参加者のアンケートでは高い評価を受けており、今後も継続する予定となっている。

③国内交流

プログラム名	担当部署	実施予定日	参加予定数
広島ピースセミナー	上通	8月4日～8日	6名
PHD 協会研修生との交流	上通	時期未定	10名

〔年間評価〕

広島ピースセミナーは今年はYMCAの学生だけでなく高校生や大学生も参加し、広島では各YMCAや海外YMCAからの参加者と平和の学びや交流を行った。国内で海外の学生と交流し、平和についてディスカッションができる数少ないプログラムとなっている。

2. 語学教育活動

(1) 国際理解を深めるための外国語教室

ア. 子ども英語教育活動

【活動計画及び実績人数】

① Zoo クラブ

	中央		みなみ		ながみね		むさし		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算
平均	21名	23名	46名	45名	27名	28名	22名	20名	117名	116名

[年間評価]

Zoo クラブについては、年間を通じて安定した運営ができています。

② 子ども英語クラス

	中央		みなみ		上通		ながみね		むさし		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算
平均	64名	63名	224名	221名	12名	6名	166名	155名	168名	156名	633名	600名

[年間評価]

前年度の子ども英語クラスが好調だったため、予算定員を増やしたが達成には至らず。全体の在籍者数としては前年とほぼ同数程度維持。

イ. 成人語学教育活動

【活動計画及び実績人数】

① 英会話クラス

	みなみ		上通		むさし		計	
	予算	実算	予算	実算	予算	実算	予算	実算
平均	34名	27名	142名	138名	34名	27名	210名	191名

[年間評価]

大人の英会話クラスについては、全国的に苦しい募集状況が続いている。2019年度4月に上通センターが移転することもあり、秋期募集は短期コースを中心に実施したため、通年の在籍者数の増加には繋がっていない。

② 目的別クラス

	上通		みなみ	
	予算	実算	予算	実算
平均	34名	19名	6名	3名

[年間評価]

目的別クラスは、TOEIC等のライセンスクラスが予定より集まらなかった。世界のことは予算人数は達しているものの、それぞれの言語の在籍者数が少ない為、入門者向けのクラス拡大が課題である。

③ 世界のことば

	上通	
	予算	実算
平均	44名	46名

(2) 国際理解を深めるための日本語教室

【活動計画及び実績人数】

① 日本語学校/短期留学コース

	上通	
	予算	実算
平均	6名	11名

[年間評価]

② 日本語教師養成クラス

	上通	
	予算	実算
平均	7名	6名

③ 日本語教育能力検定

	上通	
	予算	実算
平均	7名	0名

日本語教育能力検定対策は人数が開講最少人数に満たなかった為、2名のセミプライベートレッスンとして実施。日本語学校短期留学コースは夏期は参加者が多かったが、冬期の募集に苦戦した。しかし4月期、7月期の募集が好調だったため、年間を通じての平均在籍者はプラスとなった。

[収益事業等]

1. 宿泊及び料飲に関する事業 (阿蘇キャンプ)

【活動計画及び実績人数】

	宿泊利用者				飲食提供数			
	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計
平均 累計	342名	324名	4,113名	3,895名	716食	910食	8,600食	10,924食

[年間評価]

宿泊利用は、企業研修と、ボランティア団体の受け入れを行いつつ、一般のキャンプ団体の受け入れを行うことができたが、予算には、未達成の状態である。

飲食提供は、宿泊利用者への提供や子ども会などの団体提供などを行い、予算を達成した。

2. 指定管理施設受託及びそれに附帯する事業

(1) 福岡県大牟田市所有の多目的活動施設「リフレスおおむた」の管理運営

【活動計画及び実績人数】

①施設利用

1) 宿泊利用

	屋内利用者				キャンプ場利用者			
	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計
平均 累計	242名	166名	2,900名	1,992名	58名	29名	700名	26名

2) 日帰り利用

	キャンプ場				和室			
	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計
平均 累計	350名	293名	4,200名	3,521名	558名	397名	6,700名	4,768名

	体育館				クライミングウォール			
	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計
平均 累計	1,200名	1,215名	14,400名	13,077名	183名	187名	2,200名	2,246名

	料理室				研修室			
	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計
平均 累計	475名	393名	5,700名	4,711名	475名	535名	5,700名	6,416名

	音楽室				創作室			
	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計
平均 累計	25名	6名	300名	76名	142名	117名	1,700名	1,407名

	交流室			
	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計
平均 累計	167名	203名	2,000名	2,441名

[年間評価]

地震の影響をうけたクライミングは1ヵ月ほどの休止期間もあったが好調。また、研修室も周辺企業等の新規利用もあり予定人数を上回ることができた。宿泊は、利用件数は増加したも

の、団体の利用が少なかったことが減少要因となっている。

②指定管理者が行うべき事業

1) 必須事業

	なんでもやる隊 (定期：野外活動クラブ)			がまだす隊 (定期：野外活動クラブ)			野外指導者養成講座 (7月)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	累計
延べ数	120名	8	179名	175名	7	190名	60名	2	17名

	リフレッシュキャンプ (4月・7月・8月・12月)			春の野草を食べよう (4月)			ほたる観察会 (5月)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	累計
延べ数	100名	5	81名	80名	1	64名	40名	1	25名

	星空観察会 (8月、2月)			青少年ボランティア活動 (8月・10月・12月・2月)			かつぼ飯作り体験教室 (10月・1月)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	累計
延べ数	60名	2	65名	40名	4	11名	30名	1	12名

レクリエーション指導 (通年：不定期)				
* 保育園・幼稚園・小学校・子供会・ 地域・行政等の依頼により実施				
No	月	日	人数	累計
1	6	16	152名	152名
2	7	14	110名	262名

[年間評価]

メイン事業である「がまだす隊」「なんでもやる隊」は、例年通り好調であった。しかし、長期宿泊体験については年々減少傾向にある。実施日時、特に、期間の設定を次年度は変更し、ニーズにあわせた事業を展開したいと考えている。

2) 提案事業

	大人陶芸教室 (9月～11月)			親子陶芸教室 (6月、7月)			クライミング講習会 (1月～3月)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	累計
延べ数	107名	9	79名	80名	4	70名	190名	11	27名

	YMCA介護予防 (9月・10月)			リフレッシュクッキング (2月)			親子刺しゅう教室 (7月)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	累計
延べ数	20名	2	8名	60名	4	61名	40名	2	29名

	ヨガ&健康体操 (通年定期)			クリスマスリース作り教室 (①子ども②大人 12月)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	累計
延べ数	1,410名	141	1,867名	80名	4	84名

	寄せ植え教室 (12月)			実用書道教室 (10月・11月)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	60名	4	61名	120名	6	60名

[年間評価]

「ヨガ&健康体操教室」は、好調だった昨年度を更に上回る利用人数を獲得することができた。複数講師による異なる内容の実施で、参加者の満足度も高かったことが要因であると

考える。実用書道教室（ペン字講座）は対象者を小学生にまで広げたことで、参加者を大きく増加させることができた。

- (2) 共同企業体による熊本県御船町所有の「御船町スポーツセンター」の管理運営（共同企業体構成員：公益財団法人熊本YMCA、有限会社ゆうしん、有限会社スクラム）並びに「御船町地域支え合いセンター」の運営

ア. 御船町が所有する「御船町スポーツセンター及び町民グラウンド」の管理運営の受託及び当法人による自主事業の実施

【活動計画及び実績人数】

①施設利用（町民グラウンドは震災の被害により使用停止となり指定管理より外れる）

	プール				アリーナ			
	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計
平均 累計	3,791名	3,625名	45,500名	43,495名	3,333名	3,294名	40,000名	47,340名

	会議室				武道場			
	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計	予算 単月	実算 単月	予算 累計	実算 累計
平均 累計	120名	888名	1,440名	10,592名	1,147名	1,095名	13,770名	13,137名

〔年間評価〕

プールは、予測を若干下回る推移ではあったが、震災前の利用者数に近くなった。アリーナは、大会利用が増加し、予測よりも上回った。会議室も大会利用と併せての利用があり利用者数が伸びた。

②自主事業

	エアロビクス・ズンバ (各週1回)			ヨガ教室 (週3回)			親子すいせい (週1回)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	770名	77	496名	1,530名	153	1,084名	310名	31	480名

	親子たいそう (週1回)			腰痛改善教室 (週1回)			体組成測定 (月1回)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	360名	36	49名	430名	43	486名	0名	0	0名

	障がい者スポーツ (月1回)			野外活動クラブ (定期：年9回)			かけっこ教室 (年10回)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	30名	1	0名	90名	6	74名	160名	8	91名

	里山ウォーキング (年5回)			エアロビクスイベント (5月、3月)			歌声広場 (6月、9月、3月)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	60名	2	35名	0名	0	0名	40名	2	28名

	グラウンドゴルフ大会 (7月、10月、3月)			トレイルラン (10月)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	270名	2	270名	0名	0	0名

〔年間評価〕

年間を通して実施をし参加者が多いプログラムがあるが、そうではないプログラムもあり、ニーズを考慮しながら新規プログラムに変えていく検討が必要。

イ. 御船町地域支え合いセンターの運営

【支援業務内容】

- ①事前調査：ニーズ・課題の調査・把握等
- ②総合相談窓口：避難者からの健康相談等や各種支援情報等の総合的な相談窓口
- ③見守り活動・生活再建支援：生活相談員等による仮設住宅に居住する避難者への見守り・相談、連携機関とのつなぎ通じて、生活再建や自立を図る。
- ④コミュニティづくりのコーディネート：各種サロンの運営等により、各仮設住宅等内において、コミュニティを形成

〔年間評価〕

自宅を再建しての退去が進み、また災害公営住宅への入居の決定し、いよいよ自立再建への道ができつつある。その中でも独居の方や高齢者のみの世帯もあり、まだまだ安否確認は必要な状況である。支え合いセンター業務としては、引き続き見守りを続け、必要な専門機関へのつなぎは行ってきた。

住民の交流支援は、様々な対象の方を対象にしたサロンを開催し、住民通しのつながりもできてきた。その他、ボランティア等の調整も行ってきた。

- (3) 熊本県益城町所有の「益城町総合運動公園（益城町総合体育館、益城町陸上競技場、益城町総合運動公園テニスコート）、益城町町民体育館及び益城町町民運動場（5施設）」の管理運営並びに「益城町（木山団地）地域支え合いセンター」の運営

- ア. 益城町が所有する「益城町総合運動公園（3施設）、益城町町民体育館及び益城町町民運動場（5施設）」の管理運営の受託及び当法人による自主事業の実施

【活動計画及び実績人数】

①自主事業

	健康体操教室			腰痛改善(骨盤たいそう)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	240名	30	240名	170名	30	170名

〔年間評価〕

益城健康応援プログラムとして「骨盤&体幹」10回を年3回（5月～7月、10月～12月、1月～3月）益城町公民館飯野分館で実施した。昨年からの継続者に加え公民館周辺住民の参加が増加した。募集定員20名に対して5～7月9名、10～12月14名、1～3月18名。徐々に増加の傾向であり、次年度も継続する。

イ. 「益城町（木山団地）地域支え合いセンター」の運営

【支援業務内容】

- ①事前調査：ニーズ・課題の調査・把握等
独居者について、緊急時の医療情報を収集し、各世帯に緊急医療情報として設置をした。子どもがいる世帯に対し課題・ニーズ調査を実施した。
- ②総合相談窓口：避難者からの健康相談等や各種支援情報等の総合的な相談窓口
一般的な健康相談等を受け付けた。
- ③見守り活動・生活再建支援：生活相談員等による仮設住宅に居住する避難者への見守り・相談、連携機関とのつなぎ通じて、生活再建や自立を図る。
1日に平均40世帯ほどを訪問して安否確認等を実施している。また、課題がある世帯については、地域包括センターや心のケアセンター、保健センター、病院、役場へのつなぎを実施している。
- ④コミュニティづくりのコーディネート：各種サロンの運営等により、各仮設住宅等内において、コミュニティを形成
茶話会、手芸、小物作りなどのサロンを週3回3カ所の集会所を回りながら、午前10時から午後3時まで開催している。平均15名度の参加者がある。また自治会の運営についても協力をを行っている。

〔年間評価〕

自宅を再建しての退去が進み、また災害公営住宅への入居の決定し、いよいよ自立再建への道ができつつある。その中でも独居の方や高齢者のみの世帯もあり、まだまだ安否確認は必要な状況である。支え合いセンター業務としては、引き続き見守りを続け、必要な専門機関へのつなぎは行ってきた。

住民の交流支援は、様々な対象の方を対象にしたサロンを開催し、住民通しのつながりもできてきた。その他、ボランティア等の調整も行ってきた。

(4) 共同企業体による熊本県玉名市所有の「玉名市桃田運動公園」の管理運営

(共同企業体構成員：公益財団法人熊本YMCA、公益社団法人玉名市シルバー人材センター、株式会社キューネット、有限会社スクラム)

【活動計画及び実績人数】

1 施設利用

	アリーナ				トレーニング室			
	予算 単月	実数 単月	予算 累計	実数 累計	予算 単月	実数 単月	予算 累計	実数 累計
平均 累計	200 件	261 名	2,400 名	3,130 名	1,000 名	1,371 名	12,000 名	16,448 名

	会議室				ジョギング			
	予算 単月	実数 単月	予算 累計	実数 累計	予算 単月	実数 単月	予算 累計	実数 累計
平均 累計	4 件	13 件	48 件	149 件	20 名	54 名	240 名	644 名

	野球場			
	予算 単月	実数 単月	予算 累計	実数 累計
平均 累計	7 件	12 件	84 件	142 件

	市民プール（7、8月のみ）				運動広場			
	予算 単月	実数 単月	予算 累計	実数 累計	予算 単月	実数 単月	予算 累計	実数 累計
平均 累計	7,500 名	8,088 名	7,500 名	8,268 名	25 件	35 件	300 件	421 件

[年間評価]

各施設予算件数を超えての利用がなされており、空調設備が整ったこともあり、土日祝日には各種の大会利用が増えている。また、プロバスケットボールの熊本ヴォルターズ公式戦も開催され、次年度以降もハンドボールやJ A たまな等、大口の予約も入っている。施設の老朽化により、修繕・改修が課題であるが、玉名市と協議しながら、計画的に改善していきたい。

玉名市民プールは、災害級の猛暑により、塩素濃度が安定せず、水質調整に苦慮した。

2 自主事業

	マット・トランポリン (月2回)			スポーツベーシック (月2回)			野外活動 (月2回)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	144 名	24	143 名	180 名	24	135 名	180 名	47	243 名

	健康体操教室 (年3回)			スポーツ障がい予防教室 (年2回)			かけっこ教室 (年8回)		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	30 名	3	0 名	30 名	2	0 名	60 名	8	291 名

	バスケットボール体験会 (年5回)			キャンプ (年3回)			メダリスト講演会		
	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計	目標人数	回	小計
延べ数	100 名	5	26 名	40 名	3	40 名	100 名	1	0 名

[年間評価]

野外活動へ親子で参加される方々が多く、予定数より増の状態である。広報手段として、玉

名市内小学校へは、直接チラシが配布できるため集まりやすいが、高校生以上を対象としたプログラムは参加者が確保できず、実施できないプログラムもあった。かけっこ教室のニーズが高く、予定していなかった2月にも急遽募集し、53名の参加があった。キャンプは、開催時期を変更して行い、玉名市近郊にて3日間デイキャンプ、スキーキャンプ（宿泊）、雪遊びキャンプ（日帰り）を行い、野外活動と併せて参加者数が増えてきている。

3. 不動産の貸付に関する事業

①中央YMCA及び阿蘇YMCAの土地の一部を学校法人熊本YMCA学園に貸与

1)中央	熊本市中央区新町1-3-8の土地のうち、460㎡を貸与
2)阿蘇	阿蘇市車帰の土地のうち、1917㎡を貸与

4. 自動販売機手数料事業

①各施設に設置している自動販売機の手数料収益

1)中央	6台
2)みなみ	5台
3)ながみね	3台
4)むさし	5台

II：処務の概要

1. 評議員・役員に関する事項

(1) 評議員

(2019年3月31日現在)

役員名	氏名	職業	就任年月日	担当事務	報酬	備考
評議員	立野 泰博	牧師	2013年6月1日		無給	重任
評議員	来海 恵子	市議会議員	2013年6月1日		無給	重任
評議員	西川 晶子	牧師	2015年5月31日		無給	
評議員	福田 稠	病院理事長	2015年5月31日		無給	
評議員	森 博之	地方公務員	2015年5月31日		無給	
評議員	山内 恵美	団体職員	2015年5月31日		無給	
評議員	横田 博	自営業	2015年5月31日		無給	
評議員	岩本 芳久	会社員	2015年6月2日		無給	
評議員	宮崎 隆二	会社役員	2017年6月2日		無給	
評議員	吉本貞一郎	会社役員	2017年6月2日		無給	

(2) 役員（理事・監事）

(2019年3月31日現在)

役員名	氏名	職業	就任年月日	担当事務	報酬	備考
代表理事	岡 成也	私学職員	2017年6月2日		無給	重任
理事	福島 貴志	(特活)理事長	2017年6月2日		無給	重任
理事	加藤 國博	自営業	2015年5月31日		無給	
理事	米村 謙一	自営業	2017年6月2日		無給	
理事	藤本 義隆	自営業	2017年6月2日		無給	
理事	中村賢次郎	私学職員	2017年6月2日		無給	
理事	大崎 隆義	税理士	2017年6月2日		無給	
理事	藤本猪智郎	弁護士	2017年6月2日		無給	

2. 職員に関する事項

(2019年3月31日現在)

	フルタイム	パートタイム	合計
講師職	30名	-	30名
事務職	52名	49名	101名
合計	82名	49名	131名

3. 評議員会・理事会に関する事項

(1) 評議員会

開催年月日	出席数	議事内容	会議の結果
2018年5月29日	10名	〔決議事項〕 ・2017年度計算書類等の承認の件 〔報告事項〕 ・2017年度事業報告書の	・計算書類等を承認
2019年3月25日	4名	〔決議事項〕 ・2019年度事業計画承認の件 ・2019年度収支予算等承認の件 ・施設統合と事業委託終了の件	・事業計画を承認 ・収支予算を承認 ・原案を承認 ・施設統合、事業委託を承認

(2) 理事会

開催年月日	出席数	議事内容	会議の結果
2018年5月15日	7名	〔決議事項〕 ・2017年度事業報告承認の件 ・2017年度収支決算承認の件 ・2018年度第1回評議員会召集の件	・事業報告を承認 ・収支決算を承認 ・召集を承認
2018年8月27日	6名	〔報告事項〕 ・職務執行状況の報告について	・報告内容を承認
2019年3月15日	6名	〔決議事項〕 ・2019年度事業計画の件 ・2019年度収支予算の件 ・公益財団法人第2回評議員会の召集の件 〔報告事項〕 ・公益財団法人の職務執行状況報告の件	・事業計画を承認 ・収支予算を承認 ・召集を承認

4. 会員に関する事項（会員数の推移）

単位：名

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
普通会員	7,788	7,948	7,790	7,931	7,858	7,856	7,927	7,848	7,742	7,814	7,690	7,519	7,809
維持会員	1,047	1,033	1,033	1,047	1,052	1,052	1,048	1,041	1,041	1,050	1,053	1,053	1,046
合計	8,835	8,981	8,823	8,978	8,910	8,908	8,975	8,889	8,783	8,864	8,743	8,572	8,855

Ⅲ：附属明細書

2018年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行細則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成。